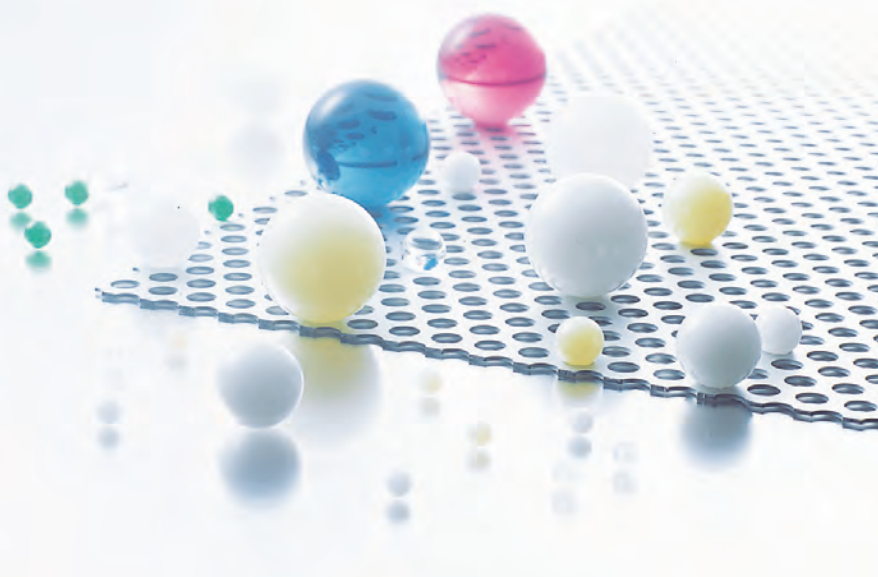


佐藤鉄工 株式会社

各種材料の球体、
産業用や日用品へ

海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



各種のプラスチック材料で製造した球

業務内容
高精度の球、
微小な1.5mm径から

鉄をはじめとした各種の材料、合成樹脂、ガラス、セラミックスなどから、1,000分の1mmレベルの精度の球体を製造販売している。製造サイズは径1.5mm～60mm。国産の球体メーカーは貴重で、新素材の加工、特殊用途の依頼が同社を頼ってくる。

パチンコ遊技機の鋼球は60%のシェアを持ち、長く看板の仕事だったが、パチンコ台に関する規制が変わり、需要が減った。現在は新分野で取り組んできたプラスチック球が主力で、日用品のシャンプー容器などワンブッシュ式のバルブに同社の4mm径プラスチック球が多く使われている。ベアリング用に高機能樹脂の球も広く使われている。

強み
品質管理に力、
洗浄装置・クリーン環境

品質管理に力を入れ、積極的に投資。超純水を使った超音波洗浄機で球に付着した微細なホコリ、汚れを確実に取り除く。また最新のデジタルマイクロスコープにより、5～2,000倍の拡大倍率で球体表面の不良発生をチェックするほか、クリーンルーム環境を整備しており、医療、電子産業向けなど、クリーン要求の高い注文にも対応している。

メインの研磨加工機は自社製作し、加工技術の探求に役立てるとともに、技術の社外流出を防いでいる。「球体は製品の中で外から見えない部位で使われ、不具合があったら原因特定が困難」と佐藤晃司社長は品質管理に力を入れる理由を語る。

HP活用
球体の新規客、
ホームページが武器

平成9年にホームページを開設してから、現在は毎日5～10件の依頼がウェブ経由で寄せられ、

営業ツールとして定着させている。プラスチック、ガラスといった球体は、当初売り先を見つける術が見つからず、試験的にホームページで情報発信したのが発端。それが研究者やマーケティング担当者の目にとまり、専門会社の手を借りて内容をレベルアップしていった。

現在のホームページは平成20年に米国在住の日本人ウェブデザイナーに依頼して製作刷新し、ほぼ3年おきに更新。球体アドバイザーと名付けたマスコットキャラクターを考案して親しみやすくし、「子どもが理解でき、専門家にも納得の内容にした」と佐藤社長は語る。近く刷新を準備している。

今後の展望
「絶えず新技術に対応、
佐藤鉄工エニブランドへ」

球体メーカーとして、多様化する素材や、高機能化のニーズに合わせて着実に成長を狙う。プラスチック、ガラス、セラミックスの物性を複合したような新材料が登場しており、球体加工も新たな工夫が求められる。パチンコ遊技機の分野でも機種刷新の検討が業界で進んでおり、高機能化したパチンコ球の製造準備も進めている。またチタン材の加工法に力を入れ、医療機器、人工関節、さらに発色の特性で美容関係も有望と見ている。経営は規模の拡大よりも中身の充実を重視し、資格取得をテコにした人材育成の仕組み、営業と品質保証体制の整備で、「佐藤鉄工」ブランドの確立を目指す。



人の目で厳しく全数検査



縦軸型の研磨機

当社の歴史



昭和25年の創業時は、紡績、印刷機械の修理改造を業としていましたが、昭和27年に大径ベアリング鋼球を製造し、それ以来、球体の製造に取り組み、顧客からの要望で鉄以外の材料の球体の製造も手がけるようになりました。以後、プラスチックやセラミックスの球などの加工法の開発を進め、特殊球製造部門を設立し、現在に至ります。

代表取締役 佐藤 晃司さん

<http://www.satotekko.co.jp/>

主な事業内容

鋼球、パチンコ球、樹脂球、ガラス球、セラミック球の製造・販売

主な取引先(納入先)

電子機器メーカー、自動車部品メーカー、容器製造メーカー

●住所

〒577-0065
東大阪市
高井田中1-7-10

●TEL 06-6783-1484
●FAX 06-6783-1868
●創業 昭和25年5月
●設立 昭和48年6月
●資本金 1,000万円
●従業員 28名